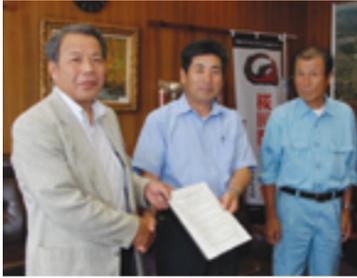


8月 7日

建設業協会と災害協定



調印を交わす坪井市長、小池洋守会長、市村小太郎副会長

市と市建設業協会は、災害時ににおける応急対策業務に関する協定を締結しました。協定には、地震災害や風水害などが発生したり、そのおそれがある場合、建設資機材などを市に提供することが盛り込まれています。

資料館企画展 11月8日まで 8月 1日



西成井地区のロクドウの支度や中道地区の棺台などを展示
【記念講演会】10月18日(日) 13:30～『日本人の死後の世界観』(講師：当館学芸員) 市農村環境改善センター

歴史を紐解けば、市内の先人たちが「死」に対する限らない不安を、信仰や思想によって対処してきたことを知ることができます。市内に残る「死後の世界への祈り」の資料を郷土資料館にてご覧ください。

8月 21日

「優しさ」という温かい貯金



ステージをいっばいに使ってパフォーマンスを交えながら講演する仲島先生

教育サポーターの仲島正教先生を講師に迎え、教育講演会が多目的会館で開催されました。参加者からは、「子供たちの心の銀行に『優しさ』という温かい貯金をいっばいにしたい」となどの感想が寄せられました。

夏休み1日図書館員 8月 20・21日



約2万7千冊の蔵書保管庫で仕分け作業の説明を聞く子どもたち

市立図書館では、夏休みを利用した1日図書館員を募集し、2日間で小学生20人が、貸し出し、ブックカバー掛けなどの仕事を体験しました。最後に出されたクイズでは、図書館の設備をフル活用して答えました。

8月 27日

国道354号沿い耕作放棄地にジャガイモの作付け



手際よく植えつける参加者の皆さん

かすみがうら市農業後継者連絡協議会(塚本和美代表)では、深谷地内の耕作放棄地約5アールにジャガイモを作付けしました。これは、市が設置する「研修農園」の一部を利用し、会員の協力のもと、耕作放棄地を優良農地還元へと挑戦する取り組みです。

市では、このような研修農園の開設や企業などの農業参入への指導、農地の再生利用に対する支援(耕作放棄地再生利用緊急対策・6月号参照)などにより、畑地を中心とした耕作放棄地の解消に努めているところです。

農業に興味のある方は、ぜひこの機会に大地還元による耕作放棄地の解消への挑戦に、ご協力をお願いします。

2009
みんなが笑った思い出の夏

第22回 あゆみ祭り



メイン行事の職工組合による木造建築上棟式。昔ながらの建前の風情を楽しみました。

ステージ壁画除幕式

壁画は、南中学校美術部27人によって描かれた躍動感あふれる漁師・帆引き船・ユリ・蓮の花の絵。幅9メートル、高さ2.7メートルの大作は、あゆみ祭り後に、南中学校の体育館に展示され生徒とともに時を重ねることとなった。



平成百景

あなたが選ぶ、新時代の日本の風景



認定証授与式に参列した坪井市長、岩本読売新聞水戸支局長、塙土浦市産業部長、縣行方市経済部長(左から)

8月16日、歩崎公園を中心に第22回あゆみ祭りが開催され、およそ3万人が来場しにぎわいました。今年は一霞ヶ浦の帆引き船が読売新聞社企画の「平成百景」に選定されたのを機にステージに帆引き船や漁師の壁画を作成。湖上には、往時を彷彿とさせる9艘もの帆引き船が操業され、涼風とともに訪れた今昔の霞ヶ浦風物詩に、心やかな時間が流れました。

クライマックスを飾ったメッセージ花火は、地元企業と市民の皆さんの協力のもと、今年も盛大に打ち上げられ、湖面を鮮やかに彩りました。